



4 . 1 0 . 2 1

統合幕僚監部

令和4年度日米共同統合演習（実動演習）

「K e e n S w o r d 2 3」について

自衛隊と米軍は、下記のとおり令和4年度日米共同統合演習（実動演習）を実施します。
本訓練は、強固な日米同盟の下、日米双方が主要装備品を使用した演習を行う中で、日米の即応態勢を確認し、相互運用性を向上させるものです。自衛隊と米軍は力による一方的な現状変更の試みは断じて許さないという強い意志のもと、あらゆる事態に対応するための抑止力・対処力を強化し、我が国の防衛及び地域の平和の安全の確保に寄与していく考えです。

記

1 演習の目的

グレーゾーン事態から武力攻撃事態等における自衛隊の運用要領及び日米共同対処要領を演練し、自衛隊の即応性及び日米の相互運用性の向上を図る。

2 実施時期

令和4年 1 1 月 1 0 日（木）～ 1 1 月 1 9 日（土）

3 主要実施場所

自衛隊施設、在日米軍施設、津多羅島、奄美大島、徳之島、我が国周辺海空域等

4 主要訓練項目

- (1) 水陸両用作戦
- (2) 陸上作戦
- (3) 海上作戦
- (4) 航空作戦
- (5) 統合後方補給
- (6) 特殊作戦
- (7) 宇宙、サイバー及び電磁波に関する領域と従来の領域の連携

5 演習参加部隊等

(1) 自衛隊

ア 統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、情報本部及び自衛隊サイバー防衛隊

イ 陸上自衛隊

陸上総隊、各方面隊等

ウ 海上自衛隊
自衛艦隊、各地方隊等

エ 航空自衛隊
航空総隊、航空支援集団、宇宙作戦群等

- (2) 米 軍
インド太平洋軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍、太平洋海兵隊、在日米軍、宇宙軍等
- (3) その他
一部の訓練に豪・加・英軍艦艇、豪・加軍航空機が参加予定

6 演習参加規模

- (1) 自衛隊：人員約26,000名、艦艇 約20隻、航空機約250機
- (2) 米 軍：人員約10,000名、艦艇 約10隻、航空機約120機
- (3) 豪 軍：艦艇1隻、航空機1機
- (4) 加 軍：艦艇2隻、航空機1機
- (5) 英 軍：艦艇1隻

7 その他

- (1) 日米共同統合演習は昭和60年度に開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施。実動演習は今回で16回目にあたる。
- (2) 豪州、加国、仏国、印国、NZ、比国、韓国、英国及びNATOからオブザーバーを招へい予定